

市議会だより

東松島市
第72号

令和6年5月1日発行



東松島市PTA連合会との議会懇談会の様子（令和6年1月23日、矢本西市民センター）

- 令和6年度当初予算など35件は全会一致で原案のとおり可決……………P 2～5
- 会派代表質問～会派代表3人が市長所信を問う～……………P 6～7
- 一般質問～12議員が市政をたずす～……………P 8～13
- 議会懇談会、産業建設常任委員会報告……………P14～15



脱炭素先行地域

東松島市は、環境省「第1回脱炭素先行地域」に選定されました。



東松島市は、政府から「SDGs未来都市」に選定されています。



議会映像は
ここから
チェック！



発行／宮城県東松島市議会
編集／広報常任委員会

毎年、2月の議会では、新しい年度の予算の
使いみちについて審議します！

「わたしたちの税金がどんなことに使われるのか」、
「本当に必要なお金なのか」をしっかりと審議しています。

1

令和6年度市政執行について 市長が所信を表明

渥美市長より「令和6年度市政執行について」の所信表明があり、①令和5年度における市政の進捗状況②令和6年度の市政推進の基本的考え方とまちづくりの方向性に沿った各取組について③所信推進に向けての3項目について述べられました。

【所信表明要旨】

「東松島市第2次総合計画後期基本計画」の計画年度4年目を迎えるに当たり、これまで取り組んできた様々な施策について、確かな成果を市民の皆様の実感していただけるよう取組を進めていく。

このため、当該基本計画でまちづくりの将来像として掲げた「住み続けられ持続・発展する東松島市」の実現に向け、「産業の成長促進と働く場の確保」、「地域全体で次代を担う子どもたちを支える学びと子育て環境の充実」、「安全・安心で誰もが快適に生き生きと暮らせる市民協働の地域社会」の3つの基本理念の下、5つのまちづくりの方向性に沿って、各施策に全力で取り組む。



▲所信表明を行う渥美市長

✓ 5つのまちづくりの方向性の具体例

①産業と活力のある住みたくなるまち

- ・農業分野では「ほ場整備」、水産業分野では「生産基盤整備」を行う。また、農業法人の充実や後継者対策等を推進する。
- ・「道の駅整備事業」において、令和6年11月の開業を目指し、魅力ある「道の駅」として運営を図ることにより、一次産業の活性化と観光振興を目指す。

②子育てしやすく誰もが健康で安心して暮らせるまち

- ・学校給食費について、交付金を活用して補助額を拡充し、約半額となるよう支援を行っていく。
- ・猛暑による熱中症対策等として、市内6か所の学習等供用施設、集会所等のエアコン設置工事を実施する。

③次代を担う人材を育む学びと文化・スポーツのまち

- ・市独自の教科教育指導員を配置し、児童生徒への指導の充実を図る。
- ・安全で快適に学べる教育環境整備として、大曲小学校改築工事に着手するほか、矢本第一中学校武道館改修工事を行い施設の整備を実施する。

④災害に強く安全で快適で美しいまち

- ・令和4年5月に県が公表した新津波浸水想定を踏まえ、津波避難タワーの建設工事に着手するほか、内陸部への避難道路の整備に向けた調査設計を進める。
- ・消防体制の充実として、消防ポンプ積載車1台を更新する。また、牛網地区の防火水槽設置工事に着手する。

⑤持続可能な行財政運営が図られ市民から信頼されるまち

- ・職員の業務効率を上げるため、庁舎内の行政文書の電子決裁導入など、行政事務のデジタル化に積極的に取り組んでいく。
- ・令和7年4月1日に本市が市制施行20周年を迎えることから、東松島市誕生の経緯やまちづくり、東日本大震災からの復旧・復興など、これまでの取組をまとめた「東松島市史」の発刊に向け、「市史編纂室」を設置する。

令和6年 第1回定例会

令和6年第1回定例会は、
2月15日から3月8日までの
23日間の会期で行いました。

新年度当初予算、新規条例、
人事案件等の審議が行われ、
全て全会一致で原案のとおり
可決しました。

●議案等の上程件数 35件

<内訳>

当初予算	5件
人事	4件
補正予算	5件
条例	16件
その他	5件

議会に上程された全ての議案の
議決結果については、市議会HP
に掲載しております。



人事に関する議案

副市長の選任

元復興政策部長の八木哲也
氏を選任することに同意し
ました。

人権擁護委員の推薦

齋藤江身子氏と現人権擁護
委員の松浦達夫氏を推薦す
ることに同意しました。

教育委員会委員の選任

現教育委員会委員の木村
和彦氏を選任することに同
意しました。

どう使う？ 新年度予算

「あなたはどの予算に注目しますか？」

2

財務常任委員会による審査

市内8か所の現場を確認しました



▲滝山の市有林が適正に管理されているか確認



▲小野地域ふれあい交流館の運営状況の確認

3

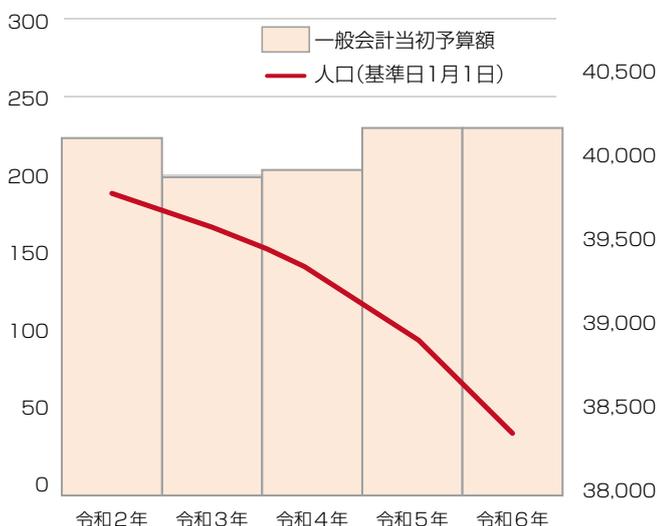
財務常任委員会委員長報告



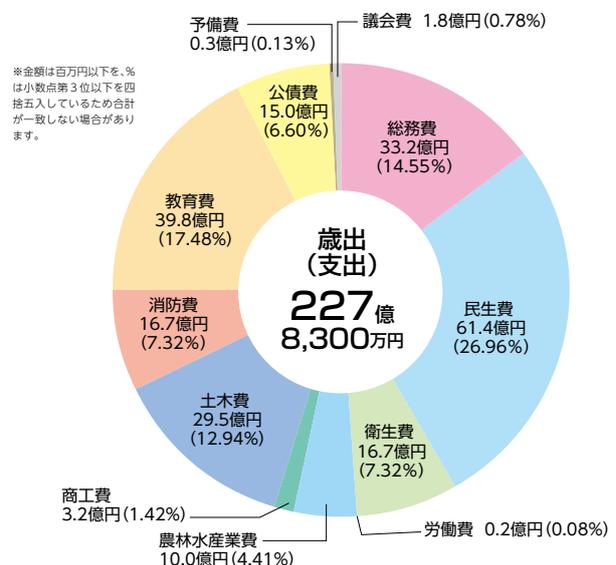
▲委員長報告を行う
大橋財務委員長

令和6年度各種会計当初予算審査を、財務常任委員会では2月26日から3月6日までの10日間審査した。一般会計・特別会計合計で315億1,787万2千円と下水道事業会計29億8,996万3千円と現場8か所を抽出し、慎重精査した。質疑通告件数は、延べ461件に及ぶ審査を実施した。審査説明の中では、令和4年度決算審査及び令和5年度予算審査時の留意事項にも触れ、疑義の解消も行っている。事項別審査案件においては、担当課への再々の聞き取り調査を実施した。その結果、第1分科会で2件の留意事項が指摘されたが、一般会計外3特別会計及び下水道事業会計の5会計を原案のとおり可決すべきものとした。

人口と一般会計当初予算の推移



令和6年度一般会計当初予算(歳出)



分野ごとに議員が注目した、新年度の予算はこれ！

分科会通告審査の内容の一部を紹介します。

戸籍・住民情報管理事務

概要 戸籍、住民に関する記録の届出受理・異動処理・証明請求を正確かつ適正に処理する。各種証明書を必要として来庁した住民等に使途の内容や交付可否の資格確認を行い、正確かつ適正に証明書を交付する。様々な行政サービスの基礎となる住民情報は、届出に基づく正確な異動処理や審査を行い住民記録を適正に管理する。

問 自動証明書交付機の導入効果は。

答 自動証明書交付機は、「書かない・待たせない窓口」の取組として、現在コンビニに設置しているマルチコピー機と同様のものを設置することで、マイナンバーカードを保有するメリットを実感していただくとともに、来庁者の利用促進と利便性の向上を図る。

なお、利用経験の無い方には、職員による操作案内など「やさしい窓口」についても取り組んでいく。

観光案内施設管理運営事業

概要 市内各観光拠点施設を適正に管理運営し、観光案内や地場産品の紹介と販売を促進するなど、観光客誘客に向けた情報発信を行うもの。

問 矢本パーキングエリア内の施設の事業効果は。イートプラザの費用対効果はどうか。

答

【矢本パーキングエリア内の施設】

○事業効果

施設利用者に対し、観光案内、物産 PR や施設利用者の求めに応じて市内地場産品（展示商品）を販売している。利用者への観光案内や物産 PR 等を行うことで、観光客の市内周遊を促進し、観光産業の活性化を図ることができるものと考えている。

※上り線の矢本パーキングエリア内の施設は、道の駅の開業に伴い解体予定。

【イートプラザ】

○事業効果

施設利用者に対し、観光案内や物産 PR 等を行っている。指定管理制度の導入により市直営管理よりも人件費が抑制されている。また指定管理者から、施設利用者増加の方策として朝市、キッチンカー、ビアガーデン、その他市産品の物販、多言語を話せるスタッフの配置、市の観光と物産の魅力を SNS 等で情報発信していくことなどが提案されている。

民間活力を活用した管理運営により、施設の設置目的の達成、施設機能の十分な発揮、更なるサービスの向上及び市の負担軽減が図られるものと考えている。

小学校施設整備事業

概要 小学校施設の定期的な維持修繕や保守点検管理を行うことにより、良好な教育環境を維持する。

問 学校施設的环境改善とあるが、令和6年度の予定事業箇所と事業内容は。

答 継続事業である大曲小学校校舎改築に伴う仮設校舎の借上料、赤井小学校特別教室の未設置であったエアコン設置工事、矢本西小学校プール管理棟の屋根・外壁等の改修工事、矢本東小学校の防音事業による空調設備の改修設計業務、赤井小学校の校内インターホン等の防犯対策設備設計業務、エネルギー構造高度化事業を活用した鳴瀬桜華小学校への太陽光発電設備の追加設置工事設計業務などとなっている。

産業建設常任委員会付託審査

議案第18号

東松島市道の駅の指定管理者を「株式会社東松島観光物産公社」に決定



▲委員長報告を行う
熊谷産業建設常任委員長

(議案の主な内容)

令和6年11月の供用開始に向けて整備を進めている東松島市道の駅について供用開始の日から令和10年3月31日までの指定管理者の指定に関する審査を行いました。審査では、本市の観光・物産について十分に把握していることから、民間活力を活用した管理運営の実施により、施設の設置目的の達成、施設機能の十分な発揮、更なるサービスの向上及び市の負担軽減を図ることが出来ると審査し、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

可決した議案



第1回臨時会（1／25）可決議案

議案第1号 令和5年度東松島市一般会計補正予算（第8号）について

3月定例会 可決議案

諮問第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

諮問第2号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

議案第2号 教育委員会委員の選任につき同意を求めることについて

議案第3号 東松島市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について

議案第4号 東松島市監査委員条例の一部を改正する条例について

議案第5号 東松島市附属機関設置条例の一部を改正する条例について

議案第6号 東松島市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

議案第7号 東松島市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

議案第8号 東松島市手数料徴収条例の一部を改正する条例について

議案第9号 ふるさと東松島まちづくり寄附条例の一部を改正する条例について

議案第10号 東松島市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について

議案第11号 東松島市母子・父子家庭医療費の助成に関する条例及び東松島市営住宅条例の一部を改正する条例について

議案第12号 東松島市介護保険条例の一部を改正する条例について

議案第13号 東松島市と宮城県信用保証協会との損失補償契約に係る回収納付金を受け取る権利の放棄に関する条例の一部を改正する条例について

議案第14号 東松島市漁港管理条例の一部を改正する条例について

議案第15号 東松島市道路の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例について

議案第16号 東松島市消防団条例の一部を改正する条例について

議案第17号 訴えの提起について

議案第18号 東松島市道の駅の指定管理者の指定について

議案第19号 市道路線（松ヶ島・椿線外1）の認定について

議案第20号 市道路線（三間堀・沢田24号線）の廃止について

議案第21号 令和6年度東松島市一般会計予算について

議案第22号 令和6年度東松島市国民健康保険特別会計予算について

議案第23号 令和6年度東松島市後期高齢者医療特別会計予算について

議案第24号 令和6年度東松島市介護保険特別会計予算について

議案第25号 令和6年度東松島市下水道事業会計予算について

議案第26号 副市長の選任につき同意を求めることについて

議案第27号 東松島市市税条例の一部を改正する条例について

議案第28号 令和5年度東松島市一般会計補正予算（第9号）について

議案第29号 令和5年度東松島市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について

議案第30号 令和5年度東松島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について

議案第31号 令和5年度東松島市介護保険特別会計補正予算（第3号）について

議案第32号 令和5年度東松島市下水道事業会計補正予算（第3号）について

議運発第1号 東松島市議会議員の請負の状況の公表に関する条例について

議員派遣の件

会派代表質問

市長の所信表明に対し、会派代表議員が質問を行いました。

※質問した議員が責任をもって原稿を作成しています。

市政執行の所信について伺う



清新会 代表
阿部 勝徳 議員

問 農業法人の充実や後継者対策の具体策は。
答 農業法人は地域農業を支える中心的役割を担うと考える。27法人で構成する「東松島市農業法人等連絡協議会」において技術及

び経営力向上のため研修会や交流会等を開催しており、市としても活動の支援をする。また、新規就農者に対し国の事業を活用した補助金交付による支援を行うと共に、市独自の嵩上げ支援を行う。
問 インバウンド誘客に向けた取り組みは。
答 世界の持続可能な観光地トップ100及びベスト・ツーリズム・ビレッジ

2023へ選出されたことについて県の観光パンフレットへの掲載や仙台空港での広告、旅行会社への周知トップセールスやSNSなどで積極的に情報発信し、国際的な認知度向上に取り組む。
問 新たな産業用地整備に向けた取り組みは。
答 市内既存産業用地の空き区画が少なくなり、新たな産業用地の整備に向け「産業用地整備基本計画」を策定中である。官民連携による産業用地整備が必要

であり、民間事業者からの企画提案の公募を行う。
問 重層的支援体制整備事業の本格実施に向けた令和6年度の取り組みは。
答 地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対する包括的な支援体制を構築するため専門職員を配置し（仮称）東松島市地域福祉交流プラザを拠点に情報共有や事業の普及啓発を行う。
問 脱炭素社会に向けた取り組みの効果は。
答 太陽光発電設備等の整備により、温室効果ガス排



▲令和6年度市政執行の所信

令和6年度予算編成と市政執行の所信を問う



松桜会 代表
櫻井 政文 議員

問 令和4年度決算によれば、不納欠損額は約7,923万円である。令和6年度予算執行には、極力不納欠損の生じない対策が必要であるが、その策について伺う。

答 令和4年度の現年度分における市民税、固定資産税、国保税等、6税目の平均徴収率は、98.5%と高い割合になっており、令和6年度も引き続き、収納率の向上に努める。
問 行財政運営プロジェクトを遂行するためには、財政強化が必要と思われるが、財政力指数の目標値について伺う。
答 第2次総合計画最終年

度の令和7年度の財政力指数を0.48とすることを目標値としている。
問 この度の一般会計では、全体に対し23.5%の投資的経費を計上している。裏付けとなる財源の確保について伺う。
答 特定財源として、防衛施設周辺対策関連補助金等の国県支出金で18億3千368万3千円、地方交付税措置のある過疎

対策事業債等の地方債で20億7千760万円、公共施設整備及び大規模改修基金繰入金等のその他で10億3千216万3千円の合計49億4千344万6千円を確保している。また、防衛施設周辺対策関連補助金の活用による特別交付税措置を1億1千426万2千円と見込んでいます。
問 地域6次産業化をどう推進していくか。
答 道の駅での直売につなげ、地場産品の魅力発信と生産者の所得向上につなげ

ていく。
問 観光振興には官民連携が必要と考えるが。
答 国、県、地域、民間事業者等と連携し、交流人口の拡大と関連産業への波及に努める。
問 市民センターに係る指定管理者制度について伺う。
答 市民センターに係る指定管理者制度による在り方検討委員会からの答申を踏まえ、方針を3月中旬に決定する。

一般質問

12議員が 市政をたずねます

東松島市第2次総合計画後期基本計画まちづくりの方向性別目次

1 産業と活力のある住みたくなるまち		
道の駅について伺う	千葉 修一	P 8
道の駅について	石森 晃寿	P 9
観光客のニーズに合った宿泊施設等の確保について	石森 晃寿	P 9
観光推進施策について伺う	井出 方明	P11
食糧安全保障の観点から農業を伺う	阿部 秀太	P11
道の駅について伺う	阿部 秀太	P11
2 子育てしやすく誰もが健康で安心して暮らせるまち		
民生委員・児童委員について伺う	千葉 修一	P 8
子育て政策について	浅野 直美	P10
人口減少・少子高齢化対策について	小野 幸男	P12
女性活躍社会を推進せよ	大橋 博之	P12
子育て支援対策について	手代木せつ子	P13
3 次世代を担う人材を育む学びと文化・スポーツのまち		
児童生徒の推移について伺う	千葉 修一	P 8
スポーツ施設を活用し街の活性化を目指せ	五野井敏夫	P 9
学校給食費無償化に向けた取組について	浅野 直美	P10
教育の更なる発展について	小野 幸男	P12
今後のスポーツ振興について	手代木せつ子	P13
4 災害に強く安全で快適で美しいまち		
消防団の改善を求める	齋藤 徹	P 8
横断歩道上の交通事故防止対策を	齋藤 徹	P 8
定川、赤井掘に架かる橋梁の整備について	齋藤 徹	P 8
過疎対策について	石森 晃寿	P 9
地震災害における消火活動は万全か	五野井 敏夫	P 9
既存市道の整備と歩道の設置はいかに	五野井 敏夫	P 9
脱炭素先行地域として環境課題への取り組み強化を	浅野 直美	P10
市民の安心安全を守る交通安全対策について	浅野 直美	P10
防災計画等について伺う	井出 方明	P11
薪ストーブ設置に助成を	大橋 博之	P12
牛網から根古地区に抜ける避難道路の整備について	手代木せつ子	P13
原発避難、能登半島地震を踏まえた対応を	長谷川 博	P13
5 持続可能な行財政運営が図られ市民から信頼されるまち		
行政サービスについて	熊谷 昌崇	P10

※質問した議員が責任をもって原稿を作成しています。

令和6年度の「まちづくりの方向性」に沿った取り組みについて



自公・市民の会 代表
土井 光正 議員

問 学校給食費は、保護者の経済的負担軽減を図るため、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し半額とするが、次年度以降も継続していくのか。また、給食費無償化の考えはいかに。

答 継続したいと考えている。さらに次年度は4分の3程度の交付金を充当するなど無償化への方向性を検討していきたい。

問 猛暑による熱中症対策等として市内6箇所の学習等供用施設、集会所等のエアコン設置を実施するとあるが具体的な設置場所は。また、夏に入る前に工事を完了すべき。

答 関の内、横沼、牛網、

南浦地区の学習等供用施設と柳地区集会所、立沼生活センターに設置する。早期の手続きで6月中の工事完了を見込む。

問 図書館の増築・改修期間中の運用は、どのような市民への利用サービスの継続を行うのか。

答 市内5つの市民センターの図書室の活用等を図り、市民への利用サービスを継続する。

問 鷹来の森運動公園大規模改修工事に着手するが改修内容は。

答 ナイター照明施設のLED化等の改修と合わせ、新たに駐車場周辺への屋外トイレ1棟の整備を予定している。

問 デマンドタクシー「らくらく号」について利用者からの要望の多い石巻赤十字病院までの限定的な運行を検討する考えは。

答 石巻市の交通事業者等の理解を得る必要がある、石巻圏域定住自立圏におい



▲道の駅開業についても質問しました

て研究していく。

問 矢本庁舎や鳴瀬総合支所で各種証明書の自動交付機設置の運用は。

答 「書かない・待たせない窓口」実現のため窓口職員が操作方法を案内するなど親切丁寧に対応する体制を講じる。

問 消防団の改善を

答 団幹部と対応方針を検討する



齋藤 徹 議員

1 件目

問 全団員を対象としたアンケートの結果と課題を公表すべきでは。

答 アンケートを集計した結果に基づき、新たに配備する積載車はオート

- 1 消防団の改善を求める
- 2 横断歩道上の交通事故防止対策を
- 3 定川、赤井掘に架かる橋梁の整備について



▲今後整備される消防ポンプ積載車はオートマ車となります。

マ車とし、消防演習の内容も小隊訓練の一部を縮小する等の対応方針は幹部へ示した。団員の意見については定期的アンケート、会議、個別相談での情報収集等で課題改善に取り組む。

問 操法演習等の行事を現代のスタイルに合わせる考えはあるか。

答 アンケートから各行事が負担と感じられている事は把握している。団

幹部と相談し、負担軽減へ向けて検討していく。

問 団員報酬は個人払いをするべき、市長の見解は。

答 現在は団員から委託を受け、部の口座へ振り込みをしている。今後は団幹部の意見を踏まえた上で個人への支給方法を検討する。

2 件目

問 教育関係施設、歩行者の往来の多い商業施設近辺の横断歩道への照明の設置を優先的にすべきでは。

答 安全確保の道路照明の設置と運転者へ向けた啓発を進めていく。

3 件目

問 市道小松・赤井線の2つの橋梁の整備について市の見解は。

答 2橋梁の荷重制限の撤廃は市として最重要課題、県道昇格の要望のほか、橋梁の補強等、財源も含め研究していく。



問 道の駅について

答 指定管理予定者とともに準備



千葉 修一 議員

1 件目

問 道の駅の運営計画について

答 株式会社東松島観光物産公社から、当施設の指定管理に係る事業計画が示されており、地場産品の販売やPR、デジタルコンテンツを利用した

- 1 道の駅について伺う
- 2 民生委員・児童委員について伺う
- 3 児童生徒の推移について伺う



▲道の駅の建設状況

観光や物産情報などの情報発信拠点として、一次産業の活性化や実際に本市を訪れてもらう機会を創出する。2階飲食施設については、指定管理予定者が直営で運営し本市の米、野菜、特産の海苔や牡蠣を使ったメニューを周年で提供していく旨が計画されており、1階フロアは本市の農産物、水産物農産加工品、ブ

2 件目

問 民生委員、児童委員の欠員について伺う。

答 民生委員、児童委員の欠員は11地区となつて

おり補充に向けては、自治会長に対し、地域における役割の重要性について説明のもと推薦の依頼を行っており、令和6年度には、宮城県全体における充足率91.4%を目標し、自治会と連携し取り組む。地域福祉増進のためにも地域の理解と協力が不可欠となり活動の実態を自治会に理解していただくことも大切である。



道の駅について

今年11月のオープン予定



石森 晃寿 議員

1件目

問 道の駅のオープン時期及びリハーサル期間は、

答 11月オープン予定で、リハーサル期間、施設のお披露目を兼ねたプレオープン期間を1週間程度設けている。

問 地場の特産品また、

答 石巻市、女川町及び友好都市等の特産品は、どのようなものかを考えているか。

答 地場産品については、米や野菜のほか海苔、牡蠣、農産加工品、ブルーインパルスグッズなどを販売予定である。また、石巻市や女川町の特産品である蒲鉾、鯨、サンマなどの海産物のほか、友好都市等の特産品については、東根市のサクランボ、蔵王町の梨、チーズなども考えている。

- 1 道の駅について
- 2 過疎対策について
- 3 観光客のニーズに合った宿泊施設等の確保について



▲11月にオープン予定の道の駅の整備状況写真

2件目

問 私が提言している過疎債を活用した事業の進捗について伺う。

答 市道「上福田・肘曲線、鱗・御浦線」、市道「原田・萩窪線」については、拡幅整備にかかる委託費の予算に関し、令和5年度第4回定例会で債務負担設定の承認を頂き、現在、測量設計業務に着手しており、業務完了後、早期に工事着手する。

3件目

問 観光客のニーズに合った宿泊施設等の確保は、どのように考えているか。

答 航空祭等の大規模イベント等開催時においては、本市にある既存の宿泊施設が満室になることから、交通の利便性が良い三陸自動車道インターチェンジ付近に民間による宿泊施設の誘致を考えていきたい。



震災時消火と他2件について問う

現体制を継続実施してまいります



五野井敏夫 議員

1件目

問 初期消火体制の把握はいかに。

答 災害時は、火事発生を周囲に早急に伝え、消火活動し延焼を止める。

問 有効水源の確保はいかに。

答 断水時では、284基の防火水槽と11の学校プールやため池、河川等となる。

問 防火水槽を増やすべきでは。

答 建屋の耐震化が進み火災の心配は少ない。消火栓539基、防火水槽284基を設置しており充足しているが、必要に応じて対処する。

2件目

問 五味倉線の側溝歩道

答 現在は、宮城県マ

- 1 地震災害における消火活動は万全か
- 2 既存市道の整備と歩道の設置はいかに
- 3 スポーツ施設を活用し街の活性化を目指せ



▲断水時の水源は防火水槽



▲道路整備は万全か

整備はいかに。

答 当路線の破損個所の整備については早急対応する。側溝歩道整備については、優先順位に従い引き続き整備していく。

問 他の市道の路肩、積み土砂の撤去整備はいかに。

答 道路パトロールでチェックし、市民の情報に従い対応している。

3件目

問 新設のマレットゴルフ場の利用推進はいかに。

答 新たな合宿所等の整備は行わず、民間活力を活用し、経済活性化に繋げ、財政負担を避けたい。



1 行政サービスについて



▲誰でも分かりやすい様に

問 行政サービスについて

答 利便性の向上に努める



熊谷 昌崇 議員

1件目
問 先日、償却資産の申告の郵便物が届いた。開封すると、提出用の用紙と案内文が入っていた。案内文には記載方法の説明は無く、QRコードを

読み込んで確認してスマートフォン等で確認して下さい。使い方がわからない方は、市役所に連絡してくれば、記載方法を郵送するという様な内容だった。そこで感じたのは時代の流れなのかという事だった。昨年末に県の事業で東松島市地域ポイントの導入についても、市民からはインストールや使用方法につい

て戸惑う声も多く聞かされた。そこで感じたのは日進月歩で技術が進んでいる事。経費節減も理解するが、税金を納めてもらう立場とすれば、機械に弱い人も多いことから、紙面による説明も必要と思われるがいかに。

答 償却資産の所有者は、地方税法により、その種類、数量、取得価格等を毎年1月末迄に当該自治体の首長へ申告する義務がある。このことから税務課では12月から該当事者に対し、前年度データを入力した申告用紙を昨年度まで15ページに及ぶ手引きを同封していたが、当該手引きは不要との声もあり、QRコードから本市ホームページ上の情報にアクセスし、申告方法の確認を行う方法に変更した。今後も、多様な市民に配慮をし、一層の利便性向上に努めていく。



問 じぶも家庭センター設置を

答 今年4月子育て支援課内に設置



浅野 直美 議員

1件目
問 児童福祉法等の一部法改正に伴い、子育て支援策の更なる充実を。

答 こども家庭センターを設置。国の各種補助金を活用し、よりきめ細やかな対応を行うため、更なる体制強化を図る。

- 1 子育て政策について
- 2 脱炭素先行地域として環境課題への取り組み強化を
- 3 市民の安心安全を守る交通安全対策について
- 4 学校給食費無償化に向けた取組について



▲子育て政策充実で少子化対策を



▲歩行者の安全確保を

2件目
問 脱炭素先行地域として環境課題に取組み、市民が恩恵を十分に享受できるよう、市民への利点を具体的に示すべき。

答 環境省からの交付金で本市は県内の他自治体

3件目
問 市民の安心安全遵守のため、速度超過等危険運転防止対策の強化を。

答 石巻警察署に取り締まり強化や啓発活動を継続し、歩行者の安全確保

4件目
問 令和7年度の学校給食費支援を4分の3に拡充し、無償化実現に近付け保護者の経済的負担軽減を図るべき。

答 令和7年度の給食費は、引き続き特定防衛施設周辺整備交付金を活用し、保護者負担の更なる軽減を研究したうえ、国が支援すべきよう市長会等を通じて国に要望していく。



問 観光推進・防災計画について問う

答 安心安全を守る政策を推進する



井出 方明 議員

1件目

問被災地である東松島から防災体験を売りに集客してはどうか。

答「東北復興ツーリズム」「伝承ロード推進機構」等と連携しながら防災体験を教育旅行のコンテンツの一つに位置付け、誘客に努める。

問ベストツーリズムヴィレッジに認定された機会をどの様に活用するか。

答認定記念講演会に観光関連事業者等を招いていく。旅行会社等によるインバンドを含めたツアー造成を期待する。

2件目

問地区防災計画、個別避難計画の策定状況は。

答地区防災計画作成の啓発に努めるとともに助言を行っていく。個別避

- 1 観光推進施策について問う
- 2 防災計画等について問う



▲能登半島地震で倒壊した家屋。耐震工事の進展が望まれる

答野蒜地区では、3路線の整備が完了し、他の地区でも津波避難対策緊急事業計画を進めている。

問津波避難のために南北方向に交通がスムーズに流すことが必要ではないか。

答今年1月末で耐震化率は約87%で一定水準にあるが更に進めていく。このため、耐震工事に要する費用に対する補助金の増額を検討していく。また、ブロック塀等の危険工作物は、スクールゾーン内に平成30年には269ヶ所あったものを、助成事業を活用し48ヶ所を除却している。今後も児童の安全を守るために進めていく。

問向こう十年間で基幹的農業従事者が急激に減少する見通しの中で、生産性・効率性を高めるほ場整備の見通しは。

答生産活動に使用する燃油経費や配合飼料経費の一部を支援する補正予算を計上する。さらに、新たな農業機械、施設及び資材等の導入費用負担を東松島地域農業再生協議会において支援するとともに、「みやぎの水田農業改革支援事業」も活用し支援する。

問「再生産可能な価格を」「資材価格を下げ」「機械購入補助のハードルを下げて」の声への方策は。

答予定しているすべてのほ場整備事業が完了した場合、ほ場整備率は約83%となる。

問沢田などについて生物多様性を保つ社会共通資源として活用しては。

答農地の保全と活用は重要であるが、検討事項が多く研究する。

問市民が地域の食を守る取り組みとして「食の条例」を制定する考えは。

答詳細は指定管理予定者が決定してからのこととなる。

問道の駅の運営により観光農園や民泊等の波及効果が期待でき、それが地域の活性化につながるの考えから、中心となる人材の育成は。

答農の県民条例」があり、一つの考えとして受け止める。

問 食料安全保障から農業を問う

答 様々な施策を展開する



阿部 秀太 議員

1件目

- 1 食糧安全保障の観点から農業を問う
- 2 道の駅について問う



▲大型化や ICT を活用したスマート農業が進む

問 教育の更なる発展について

答 協同的な学びの更なる充実を図る



小野 幸男 議員

1件目

問 本市の現状を問う。

答 減少率は4.01%で、本市は減少率で一定の抑制がなされている。

問 国が進める異次元の少子化対策を問う。

答 この対策は、10〜15年前から進める必要があった事業効果の検証等に注視する必要がある。

問 明石市の少子化対策についての見解は。

答 地理的条件などの違いから見解は控える。

問 社会保障制度の負担増の対策と出生率向上に向けた対策を問う。

答 必要な給付による制度構築を実施すべきと考

える。今後も婚活イベントを毎年度開催、特定不妊治療助成金の支援や育児支援としての延長保育と保護者の給食費負担軽減を図る。

問 移民政策を問う。

答 外国人労働者の受け入れは、国の政策として取り組んでいくべきと考えている。

2件目

問 協同的学びを問う。

答 児童生徒が互いに聴き合い、学び合うことで、児童生徒が取り残されないメリットを活用する。

問 人材確保を問う。

答 今年度は52人の会計年度任用職員を配置する。

問 夏休み短縮を問う。

答 授業日数を有効に活用し充実を図る。

問 経済格差の是正は。

答 主体的・対話的の学びで、協同的学びの充実を図る。

- 1 人口減少・少子高齢化対策について
- 2 教育の更なる発展について



▲協同的な学びの充実により、児童・生徒の学力向上に期待する

問 女性活躍社会を推進せよ

答 地域女性活躍推進交付金を活用



大橋 博之 議員

1件目

多くの地方議会で議員

のなり手不足、そして女性議員の数が伸び悩む中、兵庫県小野市では女性議員は43.8%（7人）

である。また、市内の各種団体においても女性役員

の比率が高くなっている。本市でも積極的に取り組むべきと考える。

問 女性リーダーを養成しようとして小野市では「お

のウィメンズ・チャレンジ」を開催している。

女性の政治参画を促す取組である。本市ではどうか。

答 本市でも全6回の女性人材発掘育成セミナーを開催しており、延べ69名が参加している。今後

- 1 女性活躍社会を推進せよ
- 2 新ストーブ設置に助成を

も引き続き開催していく。

問 小野市では、自治会への女性役員を増やす取組に力を入れた自治会に、3年間支給する事業を実施している。本市ではどうか。

答 支給金制度については考えていないが、本市の現状は女性比率が約25%と少ない状況である。自治会長との会議の中で協議していく。

問 東松島市女性模擬議会が開催された。参加した皆さんの感想はどう

であったか。今後の開催の予定はあるのか。

答 経験したことで、議会と市政を身近に感じたとの意見であった。今後2年に1回程度開催したい。



▲東松島市女性模擬議会の一般質問の様子！

- 1 今後のスポーツ振興について
- 2 子育て支援対策について
- 3 牛網から根古地区に抜ける避難道路の整備について



▲小学生オリンピック競技会表彰式の様子

1件目
問「第1回東松島市小学生オリンピック競技会」の成果と次回の開催について伺う。
答 大会を通して子ども達の自己肯定感を高めることができたことは、大

きな成果と捉えている。第2回競技会は令和6年5月25日に開催する。
2件目
問 NPO法人東松島スポーツ協会主催「第54回東松島クロスカントリー大会」への市内の小中学生の参加料には、市の助成も検討すべきではないか。
答 市内小中学生の参加料は1人1千3百円であるが、スポーツ協会で3百円減免している。参加



手代木せつ子 議員

問 ゼロ歳児途中入所の受け入れ体制は

答 保育士確保と施設の増改築で支援拡充

者が年々減少する中、市としてさらに参加料を支援する研究を行う。

2件目

問 年度途中からのゼロ歳児受入体制の手厚い策が必要ではないか。
答 既存の園や事業所と調整し、状況により0、2歳までの保育を行う小規模保育事業所の誘致、公立保育所での保育士確保と施設の増改築で受入体制の拡充を検討したい。

問 市独自の目に見える子育て支援策を講じるべきではないか。
答 財源の確保、調整を図りながら、おむつの支給等の独自支援策について研究する。

3件目

問 牛網から根古地区に抜ける避難道路の整備について伺う。
答 大変難しい状況にあるが、今後、研究する。



問 原発避難に能登半島地震の知見を

答 規制委員会の今後の対応を注視



長谷川 博 議員

1件目
問 元日に発生した能登半島地震は道路の寸断により避難が不可能になった。また、家屋の倒壊により屋内退避も困難になることが証明された。能登半島地震の現状に鑑み、女川原発事故時における広域避難計画の実効性をどのように考えるか。
答 本市と能登半島の市町の環境や地域の特性が同じではないので、一概に照らし合わせることで避難計画の実効性などについて述べることは適切でないと考ええる。

1 原発避難、能登半島地震を踏まえた対応を



▲地震で家屋が倒壊し、車の通行も不能になった

画に反映させる抜本的見直しを提言する。

答 1月13日に原子力規制委員会が女川原発を視察した際、規制委員会と知事、関係首長との意見交換会があり、県知事などから、地震を踏まえた検証の必要性について発言があった。山中委員長からは能登半島地震における原子力防災の知見を災害対策指針の改善や見直し等について委員会で

議論していく旨の発言があったので、規制委員会の今後の対応を注視する。
問 いざという時に市民の命と安全を守る避難計画でなければ、女川原発再稼働は認められない。
答 原子力発電は国のエネルギー政策である。再稼働は国と県、女川町、石巻市の首長と県、両市町の議会が判断する事柄であり、その判断を尊重したい。

市PTA連合会との議会懇談会

令和6年1月23日、市PTA連合会との議会懇談会を矢本西市民センターで行いました。

市PTA連合会から32名が参加し、本市議会の広報常任委員及び民生教育常任委員の議員が5つのグループに分かれて、2つのテーマについてグループワークにより懇談し、意見交換しました。

市PTA連合会として、市内の小学校全8校、中学校全3校の各学校単位のPTAから代表者として、PTA会長等、3名程度出席いただきました。

市の教育についてのご意見を直接聞くことができ、大変有意義な懇談会となりました。

ご多用の中、ご出席いただいた市PTA連合会の皆様に厚く御礼申し上げます。

グループワークで懇談した中で出た多数のご意見について、抜粋して掲載いたします。(順不同)

テーマ1 学力向上のためにどう取り組んでいけばよいか

課題・問題点	対 策
<ul style="list-style-type: none"> ・全国の平均点ばかりを見ずに、一人一人が自信を持てるように進めてほしい。 ・学力向上だけが目的とならないようにしてほしい。 ・学習を教える指導者が少ない。 ・世帯の経済格差により学力に差が生じている。 ・学力低下の原因や、教育の取り組みについてどのように行っているか方針が見えない。 ・先生によって宿題を出す量に違いがあるように感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育に入る前の子ども達への教育体制、連携を密にしてほしい。 ・放課後に学べる環境があれば良い。 ・地域で学べる環境や、子ども達同士で学べる環境が出来ると良い。 ・目標設定が重要であり、成績を上げる事で何が得られるかを、子ども達と話をすることが必要。 ・成功体験のセミナーを行い、学業・スポーツのモチベーションを上げて欲しい。

テーマ2 家庭学習をどのように取り組んでいけばよいか

課題・問題点	対 策
<ul style="list-style-type: none"> ・共働きのため子ども達と勉強の時間がなかなか取れない。 ・SNSやゲームの時間のコントロールが出来ていないので、家庭での学習時間が少なくなっている。 ・学習させられている感覚が強く、学びたい意欲が低い。 ・スマホやSNSを子どもがどのように活用しているか把握しきれない。 ・家庭学習時に何かをしながら勉強をしていて集中力が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年×20分を目安に学習する環境を作る。 ・親と子どもと一緒に家庭学習や読書をする。 ・全児童、生徒に配布しているタブレットを有効活用する。 ・一番は子どもが安心できる家庭環境づくりが必要。 ・ゲーム性の高い学習アプリの活用をする。 ・でめこん(デジタルメディア・コントロールチャレンジ)を子ども達に改めて意識させる

議会懇談会 出席議員名簿

長谷川 博

(広報常任委員長)

浅野 直美

(広報常任副委員長)

齋藤 徹

(広報常任委員)

櫻井 政文

(広報常任委員)

大橋 博之

(広報常任委員)

阿部 勝徳

(広報常任委員)

小野 幸男

(民生教育常任委員長)

千葉 修一

(民生教育常任委員)

井出 方明

(民生教育常任委員)

土井 光正

(民生教育常任委員)

阿部 としゑ

(民生教育常任委員)

※議席番号順に記載

開会あいさつ

小野 恵章 議長

松谷 多加子

市PTA連合会会長

司会

大橋 博之 議員

市議会の紹介

阿部 勝徳 議員

ワークショップの説明

浅野 直美 議員

総括

小野 恵章 議長

閉会あいさつ

長谷川 博 副議長

(広報常任委員長)

産業建設常任委員会視察報告

令和6年1月17日から19日まで2泊3日で行行政視察を行った。視察先は茨城県常総市、埼玉県越谷市、神奈川県横須賀市である。

茨城県常総市

「道の駅常総整備事業について」

●アグリサイエンスバレー構想について

アグリサイエンスバレー構想は、圏央道常総インターチェンジ周辺の約45haに「農地エリア」と「都市エリア」を形成し、生産・加工・流通・販売が一体となった産業団地を造り、6次産業化を軸としたまちづくりを目指すプロジェクトである。



農地エリアについては、地元の農業法人による観光農園（空中いちご園）等が展開されており、都市エリアについては、道の駅常総やツタヤブックストアが開業されている。

●道の駅常総について
令和5年4月に「道の駅常総」がオープンした。当初、年間100万人の来場者達成を目標としてい

たが、令和5年10月には100万人の来場者を突破した。大型連休については約7万人の来場者があり、茨城県内観光地別入込客数でも4位にランクインした。市街化区域に立地しており全国的にも珍しい道の駅となっている。市街化区域に立地することで、隣接するツタヤブックストアともに集客及び交流人口の拡大が狙えるものになっている。

●まとめ

常総市では、農地を集約・大区画化し、生産・加工・流通・販売までの一貫した事業施設を整備した。6次産業化による地域活性化を目指したことで多くの経済効果があると感じた。

道の駅常総については、メロンパンや芋けんぴ等の看板メニューが平日でも完売していることや、現地決済型ふるさと納税の導入など観光の消費の取り組みが著しく、本市で開業予定している道の駅においても参考となった。

埼玉県越谷市

「ガーヤちゃんの蔵屋敷（観光物産拠点施設）について」

「ガーヤちゃんの蔵屋敷」は、越谷駅東口の東武スカイツリーライン高架下に、平成29年5月にオープンした。外観と内装は江戸時代の蔵屋敷をモチーフとし、

越ヶ谷宿を再現した趣向となっている。

越谷特産の小松菜を使ったカレースパイスや、越谷いちごを使ったスイーツの商品開発に市内の高校生が関わり、店頭で販売イベントを行っている。コロナ禍でイベントの実施などにも制約があったが、商品ライオンナップの充実など工夫を重ね、運営5年目で黒字化に成功している。



●まとめ

越谷市は、日光街道越ヶ谷宿や地場産業などの歴史や伝統を活かした多くの観光スポットがあり、ガーヤちゃんの蔵屋敷も江戸時代の蔵屋敷をモチーフとし、越ヶ谷宿を再現した趣向となっている。

東日本大震災以降、東北地方の自治体と連携を深めており、本市にも6名の職員を派遣いただいた。その縁から、毎年3月にはガーヤちゃんの蔵屋敷において東北フェアが開催され、本市からは、「長寿みそ」や「おのくん」が店頭で並ぶ

ぶとのことであった。本市においても、特色ある資源を活かした観光スポットの充実化と友好都市の交流を活かした商品の提供等によるリピーターを獲得したい。

神奈川県横須賀市

「横須賀市観光立市推進アクションプランについて」

●横須賀市の観光の課題とアクションプランの取り組みについて

横須賀市は旧海軍の文化や戦後のアメリカの文化等多彩な魅力があり地域資源となっている。それにより軍港や近代歴史のイメージが根強く、観光客の男女比が7・3で男性の割合が圧倒的に高い状況であった。首都圏から近いため日帰りが多く一人当たりの観光消費額が低いことも課題となっていた。

アクションプランでは、女性の観光客の割合を増加させること、一人当たりの観光消費額を上げる事を目標とした。取り組み内容としては、横須賀市の魅力ある歴史、文化などの地域資源に、音楽、スポーツ、エンターテイメントという現代の要素を融合させて、横須賀市の新たな魅力を創造発信していく形で集客をした。例として、横須賀市内にある猿島で「センスアイ

ランド」というアーティストの作品を島に配置するアートプロジェクトが開催されたが、このイベントは週末の夜をメインとし女性や若年層の観光客の増加と宿泊者の増加につながった。

●まとめ

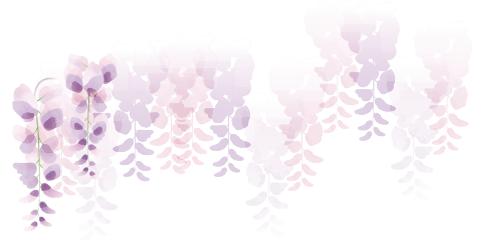
横須賀市は、魅力ある自然・歴史・文化など地域資源が豊富だが、観光客の男女比や年齢層に偏りがあつたのが課題であった。そこで地域資源を活かした民間企業とのコラボレーションや、市内外企業の投資・誘致の促進により新たな基幹産業を生み出した。その結果、女性やファミリー層かつ若年層へのアプローチを行ったことで課題が解決され、過去最高の観光客数に達していた。

本市でも、SNSを活用した観光情報の発信や観光キャンペーンの積極的な実施及び旅行関係者への営業活動等、効果的なプロモーションを期待したい。



議会運営および活動状況 (令和5年12月定例会開会以降)

- 1月12日 広報常任委員会
- 17～19日 産業建設常任委員会行政視察
- 22日 議会運営委員会
- 23日 市PTA連合会との議会懇談会
- 25日 令和6年第1回臨時会
- 2月9日 議会運営委員会
- 15日 産業建設常任委員会
- 16日 産業建設常任委員会
- 26日 財務常任委員会
- 29日 議会運営委員会、財務常任委員会
- 3月4日 基地対策特別委員会
- 5日 財務常任委員会
- 6日 広報常任委員会
- 8日 総務常任委員会、民生教育常任委員会、産業建設常任委員会
- 11日 総務常任委員会



次回の定例会は 6月13日(木)～

午前10時開会

※日程は変更となる場合があります。
※新型コロナ等の状況により傍聴を制限する場合があります。
詳しくは市議会HPをご覧ください。

会期日程は
こちら！



東松島市議会 Facebook 情報発信中！



いいね！
してフォローお願いします！

東松島市議会における令和6年能登半島地震災害義援金について

令和6年1月1日に石川県能登地方を中心とした巨大地震とその余震により、甚大な被害が発生しました。

東松島市議会では、亡くなられた方々に対し深く哀悼の意を表するとともに、被災者の方々に心からお見舞いを申し上げます。

また、被災地の1日も早い復旧・復興を心から願い、義援金として1月12日に18万円を日本赤十字社の令和6年能登半島地震災害義援金に協力しました。

議会だよりをお読みいただいた感想やご意見を、ぜひお聞かせ下さい。

●アドレス
h-gikai@city.higashimatsushima.miyagi.jp



広報常任委員会
委員長 長谷川 博
副委員長 浅野 直美
委員 齋藤 政文
委員 櫻井 博
委員 大橋 政之
委員 阿部 勝徳

編集◆集◆後◆記
新緑の季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。
さて、多くの市民の方が議会に関心を持っていただくための情報発信のツールとして本誌があります。定例会での質疑や、議決状況、各議員の一般質問等を中心に編集しています。各議員の一般質問は、行政課題の捉え方に個人の特徴や傾向が見られます。その観点から見ると新たな発見があるかもしれません。
会派は政策の形成や決定に資するため先進地域を訪れ、調査研究の活動報告は、市議会ホームページに掲載されていますので、是非、ご覧下さい。(櫻井 政文)